

令和2年度地方創生関係交付金

事業実施評価

令和4年3月 むつ市

■市内部評価凡例

<事業効果>

①	地方創生に非常に効果的であった	全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合
②	地方創生に相当程度効果があった	一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合
③	地方創生に効果があった	KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合
④	地方創生に対して効果がなかった	KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組として前進・改善したとは言い難いような場合

<今後の方針：地方創生関係交付金事業計画期間が継続するもの>

①	事業の継続（計画通りに事業を継続する）
②	事業の発展（事業が効果的であったことから取組の追加等変更により発展させる）
③	事業の改善（事業の効果が不十分であったことから見直し（改善）を行う（または、行った））
④	事業の中止（継続的な事業実施を予定していたが中止する（または、した））
⑤	事業の終了（当初予定通り事業を終了する（または、した））

<今後の方針：地方創生関係交付金事業計画期間が終了したもの>

①	事業内容を変更せずに継続する（地方創生関係交付金または他の財源を活用する場合を含む）
②	事業を拡大して継続する（地方創生関係交付金または他の財源を活用する場合を含む）
③	事業の一部を継続する（地方創生関係交付金または他の財源を活用する場合を含む）
④	事業を終了する
⑤	未定

地方創生推進交付金事業に係る事業実施評価表（R2実施事業）

No.	事業名	事業の概要	事業詳細	実績額 (交付金額)	重要業績評価指標（KPI）			内部評価		外部評価	
					指標	目標指標値	実績値	事業効果	今後の方針	事業効果（※1）	主な意見（※2）
1	下北ジオパークによる観光地域づくり（しもきたDMO）推進事業	別々に事業を進めている観光振興策とジオパーク活動を一体的な取組とすることで、ジオパークを核とした地域連携DMOの登録を目指し、交流人口、活動人口の拡大を実現することで、地域経済の活性化及び雇用の増加へとつなげ、将来にわたって活力ある持続可能な地域社会の形成に取り組む。	①TABIあしすと負担金 ・DMO推進事業、運営事務費、下北観光プロモーション事業、広域パンフレット作成事業、リゾートあすなろ誘客宣伝推進事業、ポータルサイト運営事業、ジオパークツアー造成事業 ②下北ジオパーク推進協議会負担金 ・運営事務費、JGN加盟関連事業、ジオパーク理解促進事業、教育・研究・保全活動等関連事業、ジオパークプロモーション事業 ③アウトリーチ活動展開事業 ・ジオパーク推進員報酬費用弁償、各種旅費、消耗品費	34,296,437円 (17,148,000円)	年間観光入込客数 (6市町村)	1,762,899人	973,553人	②地方創生に相当程度効果があった	①事業内容を変更せずに継続する（地方創生関係交付金または他の財源を活用する場合を含む） <計画終了>	②地方創生に相当程度効果があった	・コロナ禍において逆に数値を伸ばそうとするのはおかしい。 今後の事業としては下北ジオパークが一番期待ができる。 ・ジオサイトの目立つ看板の設置が必要。
2	<陸・海・空>むつうまブランドによる「稼げる」農林水産業	むつ市のご当地グルメとして誕生した自衛隊グルメの更なるブランド化や市農林水産物の商品開発や生産向上を図り、この地域特産品を下北5市町村が連携する協議会で実施する事業等を通じ、首都圏や海外へ販路を広げることを目的とする。	①地域特産品活用促進事業 ・大湊海軍コロッケ販売戦略事業 ・大湊海自カレー普及促進事業 ・大湊Sora空っ！普及事業 ・夏秋イチゴ活用支援事業 ・ペこもち&デこもちプロモーション事業 ②むつ市産にんにくブランドカアップ事業 ・にんにくブランドカアップ事業補助金 ③下北圏域地場産品販路拡大事業 ・むつ市・下北圏域地場産品販路拡大事業実行委員会負担金 ④大畑漁港朝市開催事業 ・実行委員会負担金 ⑤スマート漁業推進事業 ・陸上養殖lot推進事業補助金	9,005,180円 (4,720,000円)	人口一人当たりの 市民所得の向上	2,326千円	2,305千円	③地方創生に効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する） <計画継続>	③地方創生に効果があった	・新規就農者は給付金終了後に経営が安定すれば認定農業者となりうるので、ぜひ認定農業者を増やしてほしい。 ・農林水産事業は数値の見込める陸上養殖を重点に進めることが良いと思う。 数値が小さいと今後事業としてなり立たない。
3	大学×若者×創業による将来を担う人材育成・確保推進事業	人材育成及び創業支援による地域活性化の施策を推進するために、日本の学力及びスポーツ先端科学並びに起業・ベンチャーのノウハウの提供を受けながら地域の将来を担う人材を育成する。	①下北Project（学びのイノベーション）事業 ・まさかり高校後援会負担金 ②Uターン就職等推進事業 ・Uターン就職等セミナー開催事業 ③新規高卒者市内定着事業 ・市内企業のガイドブック作成事業 ・高校生企業見学事業 ④創業支援事業 ・創業支援関連セミナー開催事業	24,380,651円 (12,188,000円)	若年層（18～39歳） による創業・起業 件数	8件	6件	③地方創生に効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する） <計画継続>	③地方創生に効果があった	・転入増に資する事業設計や移住・定住のさらなるテコ入れを検討しなければ、転入増目標は達成されないで、御留意いただきたい。 ・事業を拡大してでも継続していただきたい
					転入者数	2,250人	1,920人				
					滞在型指導者 (大学生等)の 受入数	80人	80人				

地方創生推進交付金事業に係る事業実施評価表（R2実施事業）

No.	事業名	事業の概要	事業詳細	実績額 (交付金額)	重要業績評価指標（KPI）			内部評価		外部評価	
					指標	目標指標値	実績値	事業効果	今後の方針	事業効果（※1）	主な意見（※2）
4	キョウイク（キョウイク・共育・今日行く！）拠点によるまちづくり推進	地元企業や地元住民により構成された「むつ下北未来創造協議会」を中心に、進学時から就職に至るまでの地元定着の流れを構築するため、下北地域にある高等教育機関を拠点として積極的なインターンシップやセミナー等の開催を通じ、将来的な定住に結びつく人材の確保に向けた人流の流れを創造する。	①キョウイク拠点によるまちづくり事業負担金 ・シティキャンパスバス運行費用 ・シティキャンパスサイクル整備事業 ・地域人材定着事業 ・プラットフォーム拡大事業 ②むつサテライトキャンパス運営費用 ・新型コロナウイルスの影響のため未実施 ③オール青森雇用創出連携プロジェクト事業 ・共育型インターンシップコーディネート	11,516,335円 (5,758,000円)	本事業による市内就職者数	0人	0人	②地方創生に相当程度効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する） <計画継続>	③地方創生に効果があった	・事業を拡大してでも継続していただきたい
					幼稚園教諭二種免許状、保育士、介護福祉士等の就職につながる資格の取得者数	0人	0人				
					転出者数	2,611人	2,232人				

※1 外部評価の事業効果については、「むつ市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」委員の皆様からいただいた評価・意見を集計し決定。

※2 質疑は除く。

地方創生拠点整備交付金事業に係る事業実施評価表（H28補正（H29実施事業））

No.	事業名	事業の概要	事業詳細	実績額 (交付金額)	重要業績評価指標（KPI）			内部評価		外部評価	
					指標	目標指標値	実績値	事業効果	今後の方針	事業効果（※1）	主な意見（※2）
1	脇野沢コミュニティセンター（銭湯）を核にした脇野沢小さな拠点整備事業	地域住民による地域デザインを策定し、それに基づき、地域住民自らが主体となった地域運営組織（現：わきのさわ湯好会）の活動拠点及び脇野沢地域の資源を活用した体験交流拠点として、遊休公共施設を「（仮称）脇野沢コミュニティセンター（銭湯）」（現：むつ市コミュニティセンター脇野沢温泉）へと整備することで、地域住民が自らの活動により、しごと・収入を確保するサイクルを創り出す。	①体験交流拠点エリア整備事業 ②コミュニティセンターエリア整備事業 ③体験型ビジネスづくり事業 ・備品購入 ④地域産型学習プログラム ・ガラスハウス修繕	89,056,000円 (44,472,000円)	地域拠点施設 利用者数	6,000人	8,949人	－ (地方創生拠点整備 交付金活用計画期 間を終了している ため)	－ (地方創生拠点整備 交付金活用計画期 間を終了している ため)	②地方創生に相当 程度効果があっ た	
					地域運営組織への 関与住民数	25人	29人				
					地域運営組織の 事業収入額	1,000千円	853千円				

※1 外部評価の事業効果については、「むつ市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」委員の皆様からいただいた評価・意見を集計し決定

※2 質疑は除く。

まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に係る事業実施評価票（R2事業）

No.	事業名	事業の概要	寄附金を活用した事業名	寄付金額	重要業績評価指標（KPI）			内部評価		外部評価	
					指標	目標指標値	実績値	事業効果	今後の方針	事業効果（※1）	主な意見（※2）
1	むつ市まち・ひと・しごと創生推進事業	地域の特性を活かした産業の創出や「下北ジオパーク」を活用した取組を推進し、積極的なシティプロモーションの実施等による「交流人口」や「定住人口」の拡大はもちろんのこと、地域と多様に関わる「関係人口」にも着目しながら、県内外の高等教育機関と連携等による地域の人材育成に努める。また、若い世代が出会い、結婚し、安心して子どもを産み育てることができるための一連の流れを生み出すべく、様々なライフステージに対応できる切れ目のない支援を実施するとともに、コンパクトシティ・クラス・ネットワークの形成を図りながら、地域が一体となって、防災・保健・医療・福祉の充実に取り組み、誰もが誇りと夢や希望を抱いて暮らすことができる魅力あるまちの実現を図る。	①未来人材育成奨学金プロジェクト ②キョウイク（教育・共育・今日行く！） 拠点によるまちづくり推進事業 ③キッズパーク運営事業	1,800,000円	人口一人あたりの市民所得	2,308千円	2,305千円	③地方創生に効果があった	①事業の継続（計画通りに事業を継続する） <計画継続>	③地方創生に効果があった	・事業を拡大してでも継続していただきたい ・DX、デジタル田園国家の推奨がされており、会議のオンライン化、資料のクラウドサービス利用など、積極的に手がけてほしい。
					50歳以下の認定農業者数	2人	1人				
					創業件数	10件	8件				
					年間観光入込客数	960,000人	502,731人				
					転入者数	2,050人	1,920人				
					転出者数	2,661人	2,232人				
					合計特殊出生率	-	1.60				
					子育てをしやすいと思う保護者の割合	就学前児童 36.1% 小学生 34.0%	就学前児童 32.6% 小学生 34.9%				
					平均寿命の延伸	男性 79.5歳 女性 86.6歳	男性 78.1歳 女性 86.0歳				
					市民の地域資源認知度	47%	59.53%				

※1 外部評価の事業効果については、「むつ市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」委員の皆様からいただいた評価・意見を集計し決定

※2 質疑は除く。

むつ市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 委員評価結果（R2事業）

事業名			内部評価	外部評価	外部評価集計欄							
					①非常に効果的であった		②相当程度効果があった		③効果があった		④効果がなかった	
地方創生推進交付金	1	<陸・海・空>むつまブランドによる「稼げる」農林水産業推進事業	②	②	0	0.0%	6	60.0%	4	40.0%	0	0.0%
	2	<陸・海・空>むつまブランドによる「稼げる」農林水産業推進事業	③	③	1	10.0%	4	40.0%	5	50.0%	0	0.0%
	3	大学×若者×創業による将来を担う人材育成・確保推進事業	③	③	0	0.0%	1	10.0%	9	90.0%	0	0.0%
	4	キョウイク（教育・共育・今日行く！）拠点によるまちづくり推進事業	②	③	0	0.0%	3	30.0%	5	50.0%	2	20.0%
地方創生拠点整備交付金	1	脇野沢コミュニティセンター（銭湯）を核にした脇野沢小さな拠点整備事業	—	②	1	11.1%	5	55.6%	3	33.3%	0	0.0%
地方創生応援税制	1	むつ市まち・ひと・しごと創生推進事業	③	③	0	0.0%	2	20.0%	7	70.0%	1	10.0%